令和６年５月８日

令和５年度の自己点検結果

自己評価委員会

令和５年５月１日における在学生数は、学部生 1,143 人（収容定員充足率 84.0%）、大学院生８人（同 26.7%）、助産学専攻科生 10 人（同 100%）で合計 1,161 人であった。各学科の在学生数は、経営学科 175 人（同 87.5%）、福祉学科 105 人（同 43.8%）、こども学科 169 人（同 84.5%）、健康スポーツ科学科 370 人（同 92.5%）、看護学科 324 人（同 101.3%）であった。

令和５年度学部卒業生は、270 人で、経営学科 38 人、福祉学科 19 人、こども学科 48 人、健康スポーツ科学科 96 人、看護学科 69 人であった。また、大学院生 5 人、助産学専攻生 9 人が修了した。

学部卒業生 270 人中 250 人が就職希望者であり、全員の就職が決定して就職率は 100.0%を達成し、実就職率は 94.3%であった。

令和 5 年度に実施した入試については、令和 6 年度の入学者数は 283 人（入学定員充足率 83.2%）であった。各学科の入学者数は、経営学科 45 人（同 90.0%）、福祉学科 26 人（同 43.3%）、こども学科 39 人（同 78.0%）、健康スポーツ科学科 98 人（同 98.0%）、看護学科 75 人（同 93.8%）であった。

令和５年度の教育研究活動方針に対する自己評価は以下のとおりである。

（１） 長期ビジョン委員会報告書、福山平成大学中期計画、SWOT 分析等を踏まえた学部・学科・研究科の改革

（評価）ほぼ計画通り：学科別中期計画を策定し、可能な限り数値目標を設定し、学科・研究科の改革の方向性を策定した。

（２） 学生募集及び広報強化

① 全ての学科（福祉学科を除く）での入学定員充足、全学部での充足率 95%達成
② 学科の強みの更なる強化
③ 効果的な高校訪問、高大連携の実施

（評価）計画通りに達成できなかった：上記②、③に加え、広報力強化を図ったが、すべての学科が入学定員を下回り、大学全体の入学定員充足率は 83.2%に低下した。

（３） 学修支援、就職支援の充実

① 学生満足度の向上
② 国家資格・重点資格合格率の引き上げ

（評価）ほぼ計画通り：就職率は 100%を達成、13 年連続の 99%超となった。国家試験は看護師 92.8%、保健師 100%、助産師 100%、介護福祉士 100%、社会福祉士 63.2%、精神保健福祉士 85.7%と高い合格率を維持したが目標には届かなかった。学生の満足度は 3.70 から 3.65 に小幅低下した。

（４） 研究力の強化

① 科研費への挑戦、外部資金の獲得

② 学会誌等への投稿、出版

（評価）ほぼ計画通り：担当副学長を中心に、研究者交流会の定期的開催、FD 開催、研究環境の改善検討等により教員の研究意識を高めた。科研費申請件数は前年度の 17 件から 19 件に増加した。また、採択件数も 1 件から 2 件に増加した。

（５） キャンパスの正常化と一層の活性化

① コロナ再拡大を警戒しつつ活気あるキャンパスライフの実現

② 可能な大学行事、課外活動の正常実施

③ 国際交流の復活と促進

（評価）目標を達成した：授業・実習に加え、御幸祭や課外活動、合宿オリエンテーション等すべての大学行事を大過なく実施し、コロナ前の活気あるキャンパスライフを取り戻すことが出来た。また、中止していた海外研修を再開したのみならず、韓国語語学留学や JST さくらサイエンス採択によるタイの大学生招聘事業等新たな取り組みを成功裏に実現した。